

科目名	構造力学 2							年度	2025
英語科目名	Structural Mechanics 2							学期	前期
学科・学年	建築学科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小倉 直幸	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】 ・建築物を計画するときは、構造力学を考えることが重要だと理解できる ・構造的に安全な建築物か否かを直感的および理論的に理解できる ・二級建築士の資格取得のための学問であることを理解できる									
【科目の概要】 建築物を計画するにあたり、「経済性」、「不動産の維持・保全」、「人命の安全」のために欠くことのできない重要な要素である。構造計算を通してラーメン構造・トラス構造などの特性を知り、建築物の計画へ応用させるための基礎知識を学ぶ。									
【到達目標】 A. 梁の安全の検討の流れを理解している B. 部材内部に生じる応力と安全性はどのようなものかを理解している C. 断面二次モーメント・断面係数がどのようなものか理解している D. 3ピンラーメン・静定不静定がどのようなものか理解している E. 応力図とはどのようなものか理解している									
【授業の注意点】 テキストと配布資料をよく理解し、予習・復習を行うこと。 なお、確認テストや中間テストは未提出となると0点になるため注意が必要。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	梁の安全性を深く理解し、建築計画に活かすことができる		梁の安全性と建築の関係性が重要だと認識している				梁の安全性と建築には関係がないと考えている		
到達目標 B	応力の問題を解くことができる		応力の知識を持っている				応力を理解することができない		
到達目標 C	断面二次モーメント・断面係数の計算を解くことができる		断面二次モーメント・断面係数の知識を持っている				断面二次モーメント・断面係数を理解することができない		
到達目標 D	3ピンラーメンの計算を解くことができる		3ピンラーメンの知識を持っている				3ピンラーメンを理解することができない		
到達目標 E	応力図を描くことができる		応力図の知識を持っている				応力図を理解することができない		
【教科書】 計算の基礎から学ぶ建築構造力学／オーム社									
【参考資料】 いちばんやさしい建築構造力学問題集296／配布プリント									
【成績の評価方法・評価基準】 学期末に行う定期試験、授業中に実施する小テスト、中間テストで学力を評価する 出欠席および授業の通り組み姿勢で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

